

青山地区

青1～

4: 各施設現状維持でよい

5: 集会所縮小すでにランニングコスト区で持っている

6: 集会場縮小の場合、大きな修理が必要な場合の費用負担は？

7: 災害時の避難施設・グラウンドになっている場合（大山田の坂下地区からも要請がある）
青山上津体育館・グラウンド

8: 青山保健センター・青山福祉センターは高齢者福祉施設として残すべき

9: 地区市民センター地区利用機能？

10: 自治センター化を出している中で地区市民センターの機能をどう扱うのか

1: 地域全体計画

2: 財政難から見直すのはわかるが、数字だけで市民の声を聞いていない

3: 青山全体の状況、各地区で再調整が必要

統合するが交通網が必要

11: 支所は建て替え公民館等との複合化但し、場所の選定を考える

12: 統合後の利用基点作り

13: 「廃止・取壊し」となった場合のその後は？

14: 青山支所の複合化には理解できる

15: 新しい施設は民間に売却すべきである

16: 施設が統合した場合の交通が心配であるがどうなるか。高齢化するのに

17: 縮小の中身は譲渡他5案が示されているがその区分けの手順を示されたい

18: 本公共施設最適化計画は自治協の同意を得る案件となりますか

19: 施設最適化計画は必要であるが、昨今の重要施策である危機管理避難所の指定(確保)等、総合的(横の連携)に考えて計画案を提示すべき。代替案を示すこと

22: 地域住民の考えも踏まえ、地域施設のあり方を考えたい。レクレーションや避難所としての充実も考えていかねばならない

24: 地区で話し合い検討

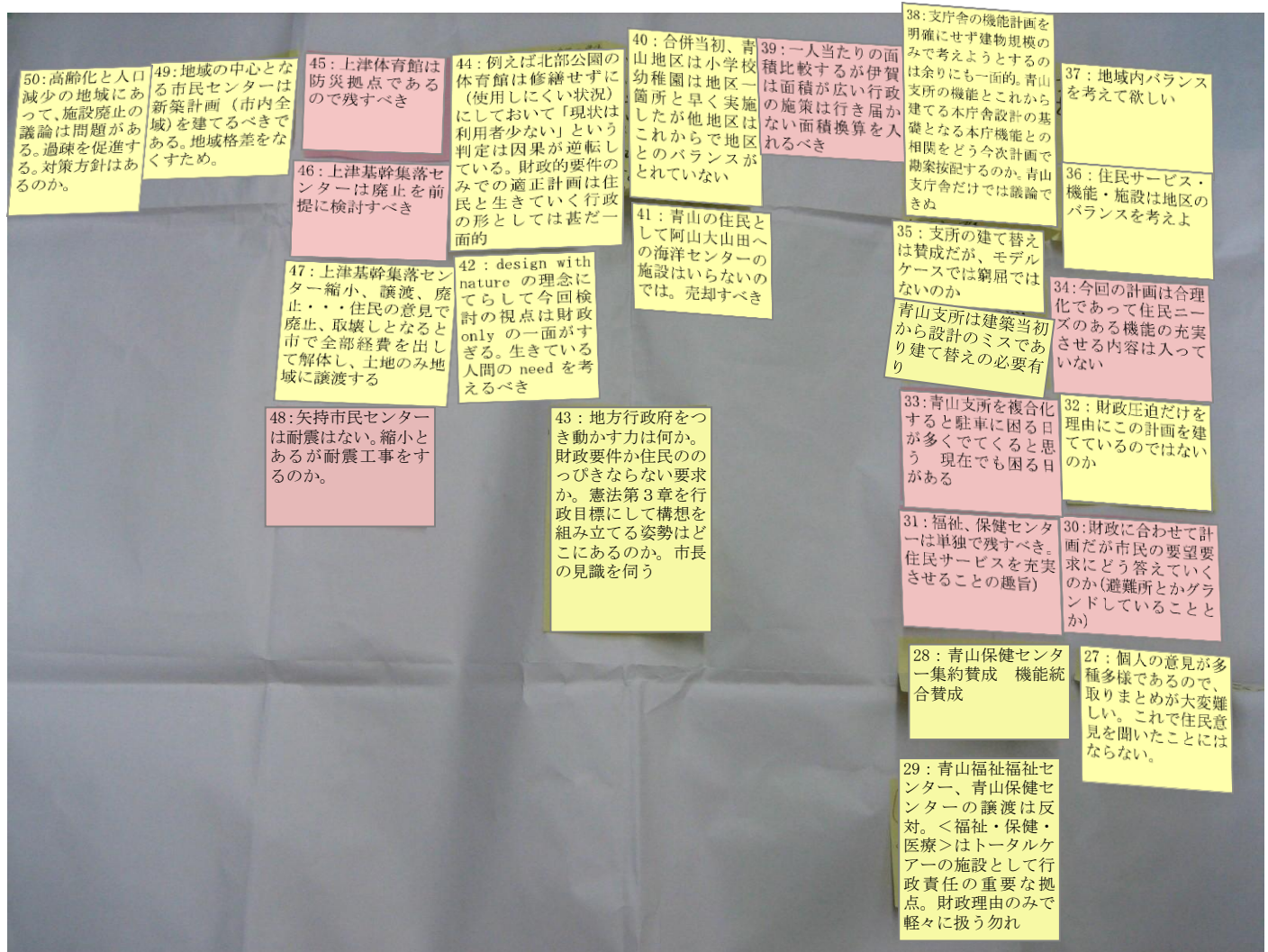
26: 縮小する施設にあっては、その有する機能を発揮できる代替案を示すべき。その場合は十分に地元の意見を聞くこと

20: 避難施設を考えて欲しい

23: 人口・施設・維持から考えて方向性は理解できるが、高齢化による医療対策・福祉の充実をどのように考えていくのか、不安である

25: 上津地区市民センターは残して欲しい

21: 施設の縮小の意味がわかりにくい。避難場所にも関わらず



73:避難施設となっている施設を「縮小」となるのは？
74:青山地域の集会所施設(計2,350㎡)を面積ベースに入れるのはどうか？

69:稼働率が少ないと言われるが、土曜、日曜日に使用できる施設がない

64:老人福祉施設が少ない

61:青山地域に来ていただける大きい道を作ってください

56:支所のあり方を充分煮詰めてからすべきではないのか？

51:支所別意見を終えれば行政として計画通りに進めるのでは？

75:桐ヶ丘第二集会所縮小となっているが月39回333延人が利用しているのになぜか？

70:地区の集会所施設を払い下げと言われるが、地区内の高齢化、人口減により維持管理も難しい状況であることも配慮願いたい。固定資産税はどうなるのか？

65:元気な老人が集まれる場所は地域ごとにほしい

62:100万坪の企業青山メナードとタイアップして遊戯施設をしてくれ

57:阿保自治協10区の業務は兼務が多く、一本化してくれ。区での兼務を少なくすること

52:青山は延床面積は少ないので、他の多いところを減らすこと

76:あまった施設を貸付、譲渡といったっているが、今の景気でどれだけ可能性がありいくらくらいに見積もっているのか説明がない

71:伊賀の経営データを経費削減を数字だけで見積もっているのでも「官」のマジックに落とされているように感じている。政策としては地方創生も高らかに言及されているものと景気浮上策との相関は？どうバランスをとっていくのか！！

66:参加者を見ると年寄りが多い。若い現役世代の意見も収集して欲しい。学生、20～40代

63:健康面で医療費削減のため、スポーツ施設等、検査サービス等本当に使えるものを充実する施設も重要

58:一本化することで駐車場スペースが大丈夫か

77:普通交付税の減額される分を物件費からだけ削減するのはどうか

72:大事なことを短時間で検討していくことは難しい

67:いきなり核論に入ることは今回のグループ討議では無理。又、時間が不足。各自自治協単位で行うべき。討論の落ち方の問題

68:地域別の検討会が必要だと思う。青山6地区(自治協単位)

59:施設適正化は理解できるが、複合化に際して交通体系などを考えるべきである

60:今回の提案は経理面から考えたものと考えますがもう少し広い視点でも見るべきでは？

54:防災拠点についても合わせて考えて欲しい。今で十分でしょうか？

53:公共施設最適化計画が最も重要な事か？他の方針、交通体制、地域づくりとの整合性は？

78:基本的な行政の方針は理解できるがあまりにも急ぎすぎるのではないか？

55:今回はハード面の施策だけ説明されているが、ソフト面のサービスが本当に充実できるのか、その説明が不足していると思う

88：建物はなくしもサービスは残す（確保）とのことであるが市民によっては遠くなり市民サービスの低下になると考えられるが！

市民センターは一部縮小で縮小建替することであるが建替え中の現在の機能は確保…。避難所も変わっているので

82：青山支所の建替えるなら人口の多い地に移してはどうか？
83：桐ヶ丘第二集会所は維持補修費も自治会ですでに管理している

79：桐ヶ丘市民センターを改築して使いやすい建物にしてほしい

89：コスト削減の観点からは正しい
90：公共施設は何のためにあるのか。利用者の判断基準に適合するサービスを提供する必要がある。例 プールの1つを温水にし臨床療養士などアドバイザーを置けば利用が増え、料金収入大山田振興課増える。悪例 上野ハイトピア：駐車場がない。市街地住民の施設とすべき。上野の市街地内は無料駐車場が確保できる施設とすべき。他は校外へ。 保育所など子育て支援：専業主婦世帯と仕事を持つ母親世帯ではニーズが異なる。
91：有識者に解決を委ねてはいけない。現状分らない。知識豊富だが想像力に欠ける（手垢のついた政策しか期待できない）専門家は木を語れても、森は語れない。主役は市職員と住民、有識者はアドバイザー
92：管財課と他の部署との仕分け・・・部門ごとの検討 例 福祉施設：福祉行政・業務・器材・IT・利用者などが互いに知恵を出し合ってこそ有効で効率的な計画がdける。 伊賀焼の会館：道の駅あやまへ
93：市と市民の仕分け 市街地とそれ以外では施設の有様が異なる。役所と診療所・商店・図書室などの集合施設。 例 青山：Aコープと同じ敷地に支所や図書室などを建設。平屋。木造またはプレハブ
94：IT技術の活用を 例 東京にいて北海道の患者を診察できる時代
95：文化財の保存基準の策定 市民からの意見聴取必要 例 伊賀市庁舎
96：不要施設：別用途より撤去・売却を優先すべき（改修費や維持費増） 新設：新建材利用、プレハブ（学校を含む）を検討すべき（増改築が容易）
97：高齢者は毎年100人ずつ増える。福祉改革構想

84：人口減少などの対応 人口増やす対策を考えるべきだ

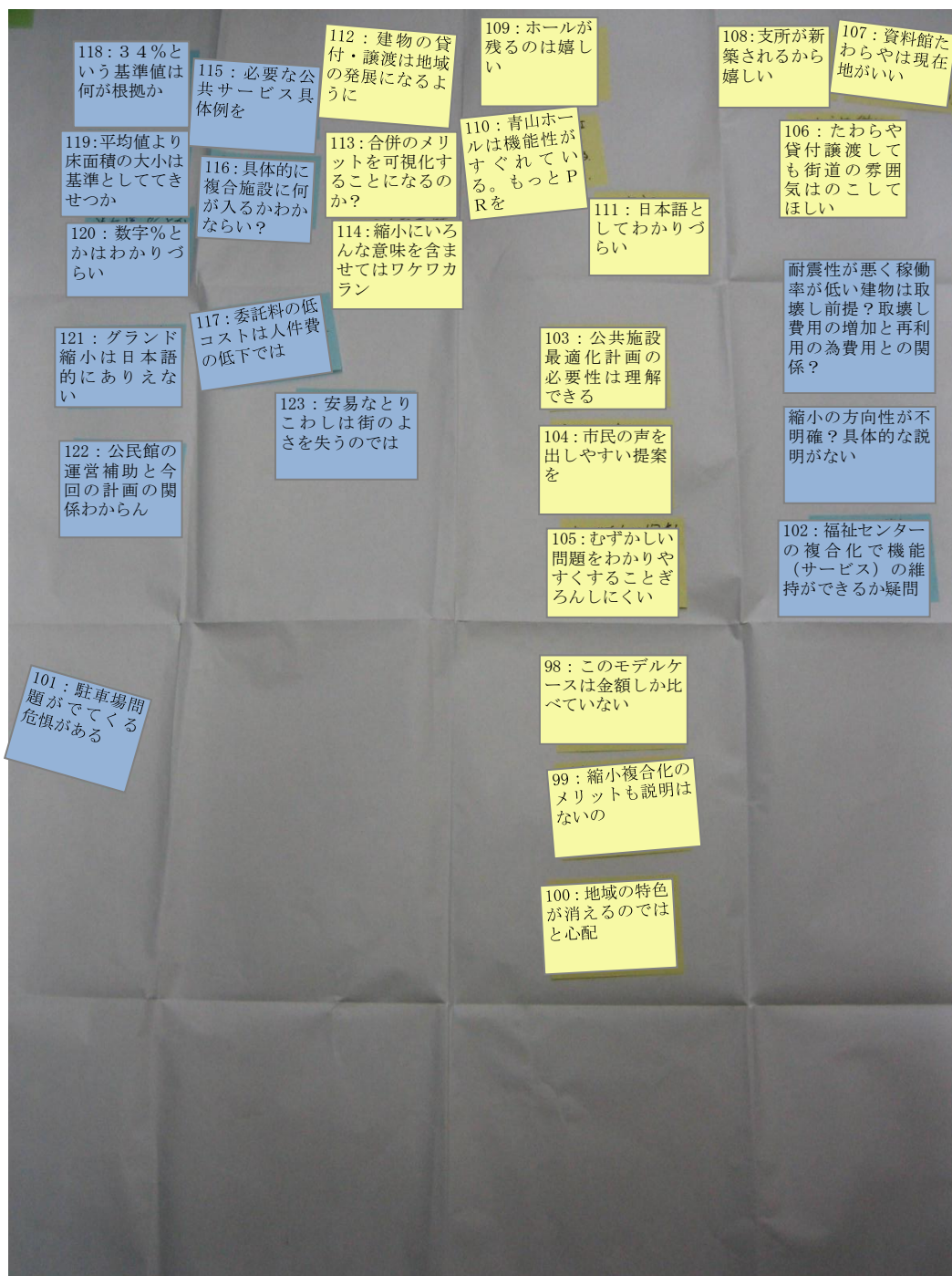
85：人口減少社会における地域づくりはこれから進められようとしている地域包括ケアシステムが如何に機能するかにかかっている。単なる複合施設化、統合化では住民の暮らしを住民が支え合うものには成り得ない。青山支所に何もかも寄せるのではなく地域包括支援センターの機能が活かせる配慮が必要

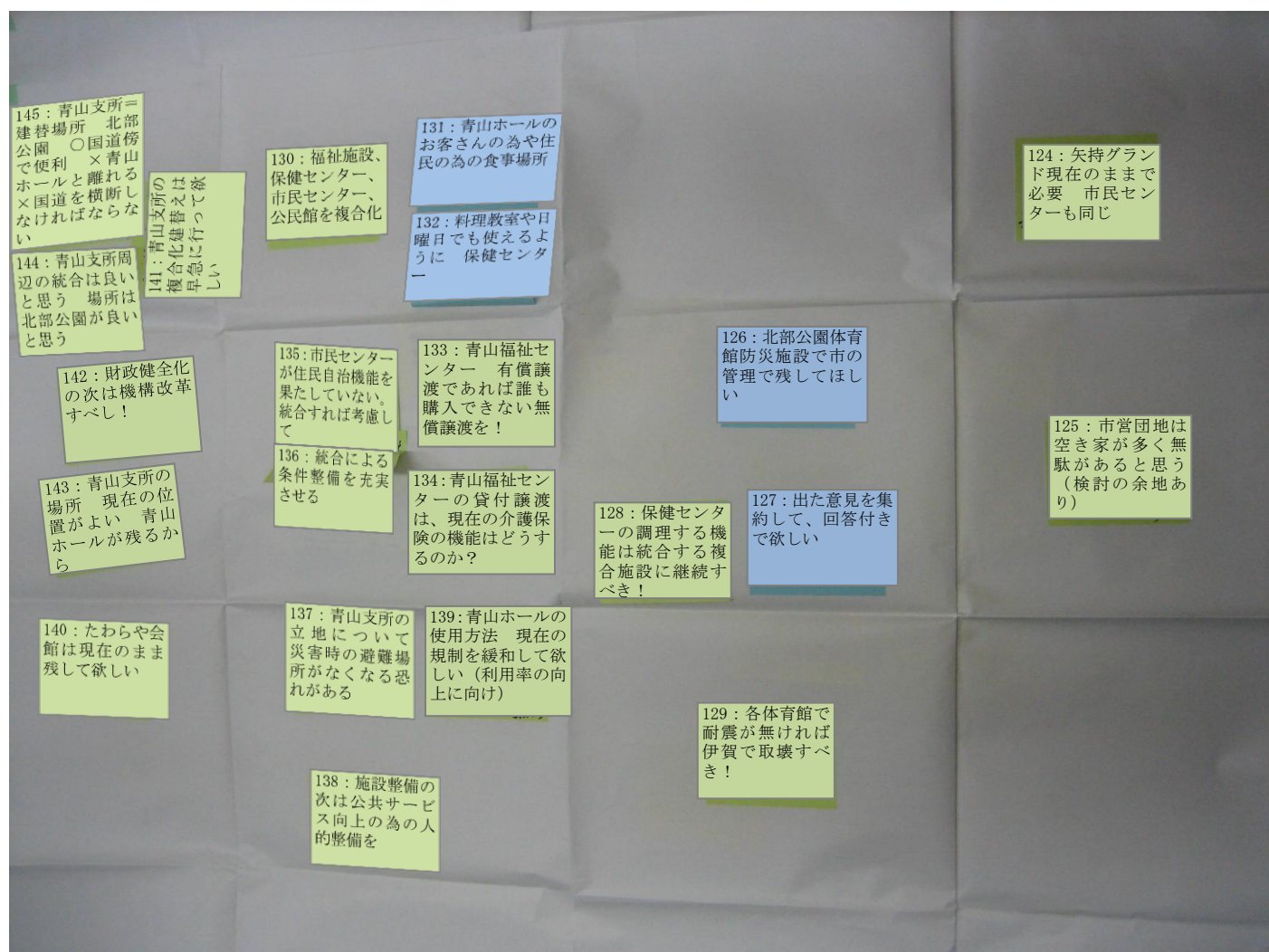
86：旧博要市民センターは既に使命を終えた施設であり、財政課効率からは全く無駄なものとされているが、伊賀市に残る昭和の学校建築様式を今に残す唯一の木造校舎である。単に整理してしまうのではなく、文化的価値を将来に残すのも、施設の最適化計画と思うが如何か。：

87：パブリックコメントや意見交換会の内容及びこれに対する市なり検討委員会の見解を公表されたい

80：北部公園体育館、雨漏りがあり避難所には不向き、トイレは新しく

81：青山町駅の周辺を開発し活力ある旧青山地区を作って欲しい





150: 支所の権限が小さい。きめ細かなサービスが提供できていない。

147: 体育館の利用率が低いのは社会教育の用途のみだから。学校教育で使うことも

148: ゲートボール場があっても指導者がいないので利用者が増えない

149: 施設が一極集中になっている (フルセット)

151: 合併時の経緯 大きな支所ではなく小さな支所になってしまっている。住民サービスの低下では？

152: 合併時の合言葉 (理念) 小さな本庁、大きな支所はどうなったのか？

153: 沢内 (村) モデルを視野に入れた思い切った改革も

154: 各地区ごとに議論して意見をまとめるというやり方の方が良い

155: 青山地区でも自治協が異なる

156: 縮小などの方向性をもっと具体的にすべき。議論がしづらい。

157: 地区単位で話し合いをしなければ意味がない

168: 阿保多目的施設はどうなるか？代替の場所及び施設を提供して欲しい。

165: 施設の建物よりもサービスが重要

163: 複合化で機能が果せるのなら反対ではない。施設の管理は難しいと思うが

169: 青山ホール開館時ほどの利用がなくなってきた。予算が足りないのだ。

166: 施設を使用できるのであれば複合施設でもよい

164: 建替は新築と限らない減築

170: 大きな市民センターはなくとも良い。介護予防センターで可

167: 複合化によって集約することで利便性があがるならOK

146: ハイトピア伊賀はコストが多くかかっているのでは？

161: 利用補助金を増やせば利用は増える

158: 10年後の出た問題を産み出した源に責任は問わないのか

162: 行政は財政的に考えなければならぬが山間地の活性化等も考慮して進めて欲しい。公共施設が無くなれば限界集落に過疎化が進んでゆきます。

159: 事業の評価と責任の主体は？先ずそこを提示して

160: 利用補助、交通網が連帯するものであって欲しい